

岐阜県合同輸血療法委員会の活動概要

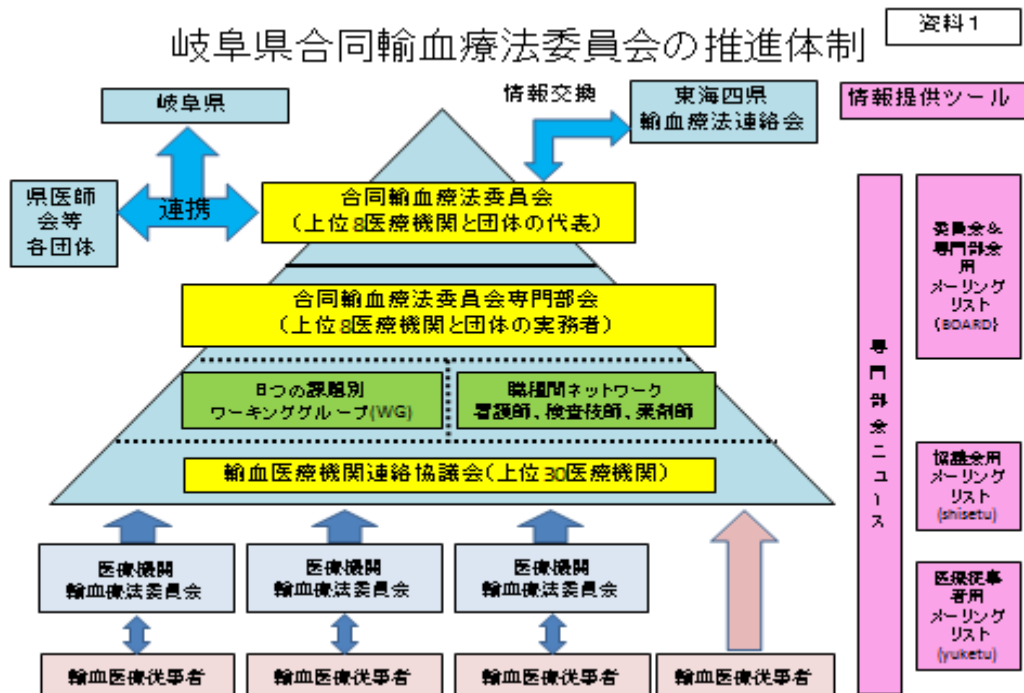
岐阜県合同輸血療法委員会は、平成12年度から毎年開催された「岐阜県血液製剤使用適正化懇談会」を発展的に解消し、県内の医療機関における血液製剤の使用適正化を推進することを目的として、平成24年度に発足しました。

この委員会は、血液製剤使用量が上位の医療機関、岐阜県医師会、岐阜県薬剤師会及び岐阜県臨床検査技師会から推薦を受けた者と岐阜県赤十字血液センター所長で構成され、血液製剤の使用適正化に向けた活動を行っています。

1 委員会の組織体制

委員長	清島 満 岐阜大学医学部附属病院 輸血部長
委員	<ul style="list-style-type: none"> ・血液製剤使用量上位 8 医療機関の代表 (輸血療法委員会から推薦された者) ・県医師会、県薬剤師会及び県臨床検査技師会から推薦された者 ・岐阜県赤十字血液センター所長 計 12 名 (委員長を含む)
事務局	岐阜県健康福祉部薬務水道課
専門部会	部会長：小杉浩史 大垣市民病院血液内科部長 事務局：岐阜県赤十字血液センター

図 1



2 委員会の特徴

専門部会活動や輸血医療機関連絡協議会活動を、最終的に専門部会活動報告としてとりまとめ、毎年1回の合同輸血療法委員会において、年度内の活動を総括し、次年度の活動の方向性を協議して、血液製剤の適正化に向けた活動を推進しています。

(1) 岐阜県合同輸血療法委員会専門部会

委員会構成団体から実務を担う医療関係者が参加し、年に5回程度の会合を重ね、実質的に推進方策を実行しています。

専門部会員には、委員の多くが参加していますが、さらに各医療機関から医師、看護師、検査技師、薬剤師の各職種が数多く参加しています。

専門部会では、課題ごとにワーキンググループ(WG)を設置し、医療現場との情報共有や関係者の意見交換を重視した活動を展開しています。

また、臨床検査技師、看護師、薬剤師の各職種ネットワークの形成において中心的な役割を担っています。

(2) 岐阜県輸血医療機関連絡協議会

血液製剤使用量上位30医療機関(H26赤血球製剤占有率87%)が参加して、専門部会活動を報告し議論を行う年1回の協議会を開催しています。各院内の輸血療法委員会委員長、輸血部門責任医師、輸血担当臨床検査技師のメーリングリストを作成し、メールによる情報交換も行っています。

(3) 情報共有・情報提供の体制

3種類のメーリングリストを構築し、専門部会内や輸血医療機関連絡協議会内での情報交換、さらに専門部会ニュースや各種研修会の開催情報など、輸血医療従事者に向けた情報提供を実施しています。

(4) 輸血療法連絡会(東海地区)

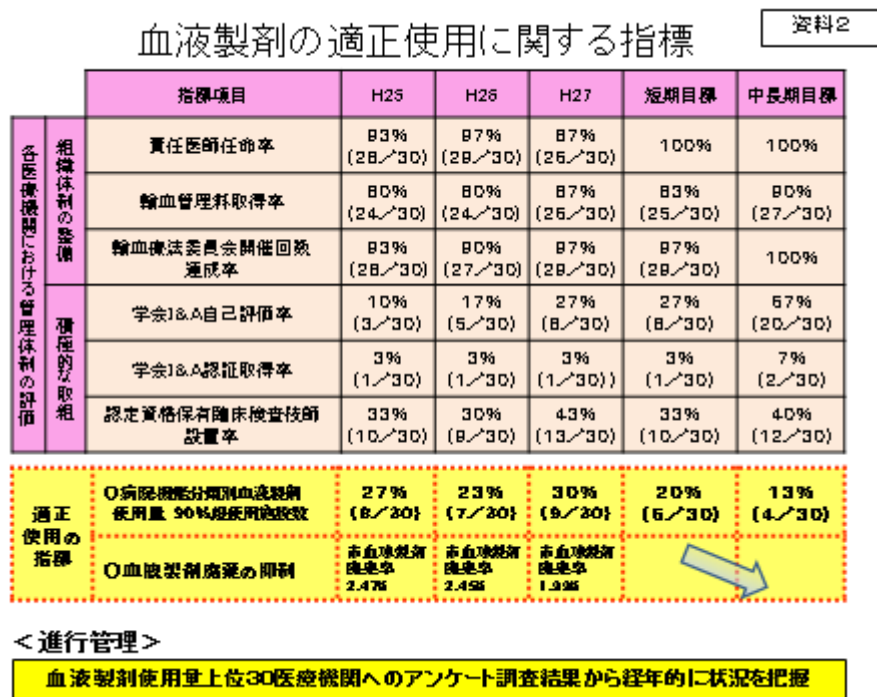
平成25年度から開催されている「輸血療法会議(東海地区)」(愛知・岐阜・三重・静岡)に当委員会も参加し、各県の合同輸血療法委員会活動の情報交換や意見交換を行っています。

3 平成27年度活動概要

(1) 血液製剤の適正使用に関する指標の設定

各医療機関における管理体制の評価として8項目、適正使用の指標として2項目をアウトカム指標として設定し、各血液製剤使用量上位30医療機関へのアンケート調査結果から経時的に状況を把握することとしました。(図2参照)

図2



(2) 専門部会での活動

専門部会に8つのワーキンググループ(WG)を設置し、数量統計の解析や標準的ツールの作成、輸血検査実技研修会、講演会等を行いました。

WG	活動項目	活動内容
1	実態調査	(1) 廃棄率削減に向けたアンケート解析(特に中小病院を対象) (2) 薬剤師会アンケートの調査及び解析
2	普及啓発および情報交換の場の育成	(1) 多職種ネットワークの更新 看護師：認定看護師の役割の明確化 薬剤師：実態調査を通して問題点の抽出 (2) 岐阜県輸血医療機関連絡協議会開催 (3) 各施設輸血療法委員会への働きかけ方法(委員会オブザーバー制の検討)
3	モデル的な施設事例の収集および紹介	・病院視察の実施(6病院：大規模病院4・中規模病院2) 1次募集：専門部会所属施設を対象 2次募集：岐阜県輸血医療機関連絡協議会参加施設を対象 【施設対象施設】

		大垣市民病院（大）、岐阜市民病院（大）、岐阜大学医学部附属病院（大）、岐阜県総合医療センター（大）、東海中央病院（中）、可児とうのう病院（中）
4	小規模医療機関のニーズ把握	・26年度に作成したツール（様式集、Q&A集等）に対しての実態アンケート実施
5	定期刊行物（普及啓発メディアの確立）	(1) 専門部会 NEWS の発行（年2回） Vol.1（9月）、Vol.2（2月）
6	県内輸血検査技師育成方法論の確立	・検査技師会主催講習会の実施
7	学術企画	(1) 岐阜県輸血療法講演会（H27.9.3） 「血小板輸血の意義と課題」 慶應義塾大学医学部 輸血・細胞療法センター教授 半田 誠先生 (2) 企業主催・共催輸血関連講演会情報提供
8	標準ツールの開発	・WG4 と並行してアンケート実施